



岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方にのみお送りしています

第 19 号 (2011 年 1 月 25 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

寒さの厳しい日が続いています。法学部だより第 19 号をお届けいたします。今回より、学生アンケートで希望の多かった就職活動体験記を掲載します。

目次

- 就職活動体験記（第 1 回）
- 卒業生からのメッセージ（第 11 回）
- 法学部からのお知らせ
- 最近の話題

○ 就職活動体験記（第 1 回）

私は 3 回生の 10 月まで、ロースクールに進学するか、公務員試験を受験するか、それとも民間企業に就職するかで悩んでいました。その中で最終的に民間企業を選んだ理由は二つあります。一つ目は「私もこんな人になりたい」と思えた先輩や社会人には民間企業で働く方が多かったことです。二つ目は生涯働く中で最も自分を成長させることが出来る環境があるのは民間企業だと感じたことです。

就職活動を進める中で私は MR という職種に出会いました。MR とは製薬会社における営業職のことです。自社の商品をドクターに紹介し、患者様一人ひとりに適切な治療法をドクターと協力して考えていきます。営業なので数字を上げることが当然求められますが、患者様のことを第一に考える倫理観も求められます。他業種の営業職とは異なり、価格交渉がないことも大きな特徴です。MR であれば私が法学部で身につけたプレゼンテーション能力や論理的思考、また人の意見や考えを取り入れながら最良の結論を導こうとする姿勢が活かせると感じました。また、MR は患者様の命を救う手助けが出来ます。その手助けは患者様本人だけではなく、患者様の家族、友人、治療に携わったドクターなど様々な人の笑顔を生み出すことにつながります。このような魅力から私は MR を目指して就職活動を行い、外資系製薬会社から内定をいただくことができました。

法学部と MR は一見何の関係もないように思えるかもしれませんが、私は法学部でなければ培えなかった能力が MR として働く上で役立つに違いないと感じています。

大学 4 年間で得たものが活かされるかどうかは自分の考え方次第です。法律に携わる職業に就くことだけが法学部出身者の果たす役割ではないと思います。

私の体験が、後輩の皆さんの進路選択に少しでも役立てば幸いです。

法学部 4 回生 篠田昭子

○ 卒業生からのメッセージ（第11回）

みなさん、はじめまして。法学部87年卒の阿部祐美子です。現在、東京都品川区で区議会議員をしています。

といっても、学生時代から政治を志していたわけでは全くありません。世の中の動きを直接自分の目で見たくてマスコミを志望し、卒業後は山陽新聞社に入社しました。それは、男女雇用機会均等法が施行された翌年。記者職での女性の採用は、前年に続き2人目という時代です。新聞社では、本社社会部や高松支社などで警察や行政をはじめ幅広い分野を担当しました。毎日のようにびっくりするような状況に直面し、山のように失敗し、本当によく叱られました。このとき自分の力の限界まで仕事にぶつかり、先輩方に鍛えてもらったことが、私の職業人としての基礎を作ってくれたのだと、今は感謝しています。

入社7年目の夏、大学のゼミの教官だった荒木勝先生（現・大学院社会文化科学研究科長）から突然、「在ポーランド日本大使館の専門調査員に応募しないか」とお誘いをいただきました。迷いもありましたが、ベルリンの壁崩壊後の東欧社会への好奇心のままに、会社を辞めて2年間の任期でワルシャワへ。そこで見たものは、市民の総力が国境線さえ動かした社会の興奮であり、共産主義体制から大転換する激動の社会の中で家族が助け合って生き抜く市民たちの姿、さらには街に刻まれた戦争の傷跡でした。ポーランドでの日々は、歴史は人間が作るものだというのを深く実感させてくれた本当に貴重な時間でした。

帰国後は東京で日本教育新聞社に再就職し、在職中に、長男を出産。子育てをしながら学校現場や文部行政取材していると、自分の住む自治体の教育政策や保育政策が気になってきます。そんなときに様々な偶然が重なって、投票日を1ヶ月後に控えていた区議会議員補欠選挙に急きょ立候補。幸い最多得票で当選することができ、現在は2期目の議員として、子育て支援策や教育問題、まちづくりを中心に取り組んでいます。

人生の中で何度も実力以上の機会を与えてもらう幸運に恵まれ、それを精一杯こなすばかりの私に、若い学生のみなさんにアドバイスできるような蓄積はまだ、ありません。ただ、日常の守備範囲を一步踏み出せばそこにはまったく違った世界が広がっていることを、ぜひ若いうちに感じてもらいたいと願っています。みなさんのご活躍を、心から楽しみにしています。

品川区議会議員（1987年卒業） 阿部祐美子

○ 法学部からのお知らせ

☆岡山大学法学部・台湾高雄大学法学院 第3回日台学術交流セミナーを開催します。

日時：2月10日（木）14：00～17：00

場所：法学部会議室

演題：日本と台湾における最近の刑事法事情

台湾高雄大学法学院より法学院長 張麗卿先生を始め5名の先生方をお迎えし、学術交流セミナーを開催します。

○ 最近の話題

☆第3回研究フォーラムが開催されました。

1月19日(水)に、今年度第3回の研究フォーラムが開催されました。今回は、塩谷毅先生に「日本における最近の刑事法事情」と題して話題提供をしていただきました。当日は、20名近い教員が参加し、活発に意見交換を行いました。

☆中国の東北師範大学および吉林大学から講師を招き、社会文化科学研究科と共催で、以下の国際ワークショップ、講演会が開催されました。

国際ワークショップ「東アジア共同体の構築」

日時：2011年1月17日(月) 19:40~21:00

場所：法学部会議室

講師：劉 雪蓮 (中国・吉林大学行政学院教授)

国際ワークショップ「中国における刑事訴訟法—刑事弁護制度について—」

日時：2011年1月18日(火) 16:15~17:45

場所：岡山大学経済学部会議室 2号館5階

講師：賈 国発 (中国・東北師範大学教授)

-
- ・本メルマガは、毎月2回程度配信しています。
 - ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。
法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
 - ・本メルマガには返信なさないようにお願いします。
 - ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いします。
<http://court.law.okayama-u.ac.jp/mail/register.html>
 - ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho@law.okayama-u.ac.jp まで。